

《担当者名》 中安 隆志 nakayasu@hoku-iryo-u.ac.jp 宮地 普子 八木 こずえ

### 【概要】

本科目は、精神障害のある人々の生活を支えるために必要な看護実践の展開方法を学ぶことを目的とする。多様化する社会や家族に目を向け、精神看護が目指す役割、機能について学ぶ。また、精神障害のある人の語りを聞くことや相互交流の機会をもつことで対象理解を深め、実際に地域生活を営む彼らを支える制度や社会資源の活用、支援のありかたについて考える。

### 【学修目標】

1. 精神障害の回復過程を支えるための考え方および援助技術の方法を説明できる。
2. コミュニケーションの基本技術を用いて精神障害のある人と交流し理解を深めることができる。
3. 精神障害のある人への看護過程の展開方法が説明できる。
4. 精神障害のある人の地域生活を支えるために必要な法制度や支援の考え方を説明できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	演習のねらいと構成・進め方・評価方法	八木
2	精神看護における対人関係 自己理解と他者理解の方法	精神看護における対人関係の意義や役割 プロセスレコードの活用方法、分析方法、効果・留意事項	八木
3	治療・ケアの技法： コミュニケーションの方法	コミュニケーションの基本	八木
4	治療・ケアの技法： SST・アサーション	SST・アサーションの考え方と方法、その実際	八木
5	看護過程の展開 1	事例の提示（課題） 統合失調症急性期・慢性期の特徴やケアの視点、看護の方法	宮地
6	看護過程の展開 2	情報の整理、アセスメント	宮地
7	看護過程の展開 3	情報の整理、アセスメント、全体像	宮地
8	対象者とのコミュニケーション 1	グループワーク： 対象者への疑問についてグループ単位でディスカッションし、質問内容や会話技法を考える	服部篤隆（特別講師） 中安 八木 宮地
9	対象者とのコミュニケーション 2	グループワーク： コミュニケーション技術を活用し、交流を図る。質問などのやり取りを通して対象者理解を深める。	服部篤隆（特別講師） 中安 八木 宮地
10	看護過程の展開 4	グループディスカッション： 各自が作成した課題のもとに意見交換を行う 他者の意見を参考に視点を広げ、課題の見直しを行う	宮地 八木 中安
11	看護過程の展開 5	アセスメント、看護計画の立案	宮地
12	看護過程の展開 6	グループディスカッション： 各自が作成した課題のもとに意見交換を行う 他者の意見を参考に視点を広げ、課題の見直しを行う	宮地 八木 中安
13	地域生活を支える視点 1	わが国の精神医療の現状をふまえ、リハビリの概念および地域生活における看護ケアの視点を学ぶ	宮地
14	地域生活を支える視点 2	地域生活を営む当事者の生活や地域社会における活動の実際から、リハビリについて考えを深める	服部篤隆（特別講師） 中安
15	地域生活を支える視点 3	地域生活を支える方法として訪問看護に必要な考え方や関わりのあり方、役割・機能の実際を学ぶ	中安

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート20%、 定期試験80%

**【教科書】**

系統看護学講座	精神看護の基本	精神看護学	医学書院
系統看護学講座	精神看護の展開	精神看護学	医学書院

**【備考】**

授業時間中にGoogle Formを活用して理解度や考察内容を把握する

**【学修の準備】**

各講義で次回の講義の紹介と準備すべき事項について説明するので、準備をして講義に臨むこと（予習30分）。  
提示された事例課題をよく読み、演習に取り組むこと（復習30分）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

**【実務経験】**

中安隆志（精神看護専門看護師）、八木こずえ（精神看護専門看護師）、宮地普子（看護師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

精神科病院での看護師、精神看護専門看護師としての実務経験に基づき実践的な教育を行う。